

鶴 翔

あす
未来のために、
いま
現在を変える。

K A K U S H O



自由民主党 衆議院和歌山1区支部長
鶴 保 庸 介

希望のある社会を実現したい

この度、自由民主党衆議院和歌山1区支部長の決定をいただきました。

記者会見でもお話ししましたが、先の補欠選挙での敗戦は県連としては大いに反省すべきであり、県民を動員し苦勞をかけたことに責任を感じないなど、あってはならないことだと思っています。



そして、個人的には自民党がなすべきことをしているのか、大いに葛藤があります。人口は減り、地方は疲弊し、力をつけた近隣国の脅威に怯える。そして自殺死亡率は依然、世界の中でも高まっています。

頑張ろうにもなにをどう頑張っても良いかわからない、進むべき道を指し示すはずの自民党は、与党でいたければ変わらねばならないと考えます。

一方で私は先の自身の選挙で大きなお約束をして参りました。農林水産業はなにがあっても国の礎です。持続的に人材、収入が得られるような産業への転換をせねばなりません。また、観光など新たな産業の柱となる業種の立ち上げのためにより動きやすい法整備、インフラ整備をせねばなりません。

さらに科学技術の衰退兆候は目を覆わんばかりです。技術が社会実装化する仕組みを作り、稼げる種とするとともに、社会が変わる実感を持たせることで有為の人材が新たな研究、開発に飛び込んでくる仕組みを作りたいものです。

他にも防衛、国土強靱化、社会保障、教育、全てにおいて充実強化が必要です。そしてそのためには多くの場合、財源が必要です。無駄遣いをなくし、稼げる産業構造にするためには今の制度の多くを抜本的に見直さなければならない、革命的作業が必要だと思っています。

それなのに自民党は党のこれまでの方針が最優先に見えます。情熱と能力のある人材活用を優先すべき時にそれができないとしたら、自民党がなすべきことを見失っているからだと言われても仕方ありません。とはいえ、わたくし個人にそんな力はありませんし、社会の激変が与える悪影響にも目を配らねばなりません。ただ、結果が全て、の世界でより影響力のある立場に立つことは、先の選挙でお約束した「夢」の実現のためには少なくとも近道になるのではと思います。

その道は大変険しいかもしれません。相当悩み迷ったのも事実です。しかし、やり遂げなければなりません。この和歌山の未来に希望を持てる社会にしなければ、我々の責任は果たせない、と感じるのです。25年もの長きにわたり参議院議員として在職し多くの失敗と成功を経験し、国会というところを熟知しています。誰がキーマンで、なにが障害なのかも理解できるつもりです。だからこそ皆さんとともに進めるなら、勝機はあると信じています。皆さんの深甚なるご理解をいただけますよう、切に願っています。

鶴保庸介(つるほようすけ) 参議院議員(和歌山県選出、自由民主党、当選回数5回)

昭和42年(1967)2月5日大阪府生まれ。東京大学法学部卒

○衆議院議員秘書を経て平成10年7月参議院選挙初当選、平成14年国土交通大臣政務官(2期)、平成18年参議院厚生労働委員長、平成22年参議院決算委員長、平成23年参議院議院運営委員長、平成24年国土交通副大臣、平成26年参議院自民党政審会長、平成28年内閣府特命担当大臣 ○参議院国際経済・外交に関する調査会長、自由民主党政務調査会観光立国調査会会長代行、同調査会・観光業に係る法制度の在り方に関するWT座長、捕鯨対策特別委員会委員長、訪日外国人観光客コロナPT座長、参議院地方創生及びデジタル社会の形成等に関する特別委員会委員長、ドローン議連幹事長、道の駅議連幹事長、棚田議連会長、鳥獣被害対策議連会長代行など多数の議連

プロフィール

2月8日、参議院本会議にて議員活動25年の永年在職議員表彰を賜りました。四半世紀の間議員を継続することができたのも、ひとえに皆様のご指導ご支援によるものと、改めて心より御礼申し上げます。

今後も力一杯邁進してまいりますので、一層のお力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。



国会活動・地方創生デジタル委員会

政治活動

参議院
地方創生及びデジタル社会の形成等
に関する特別委員会
—第34委員会室—

昨年10月から「地方創生及びデジタル社会の形成等に関する特別委員会」の委員長として委員会に出席しております。

マイナンバーカードをはじめ、AIと著作権に関する問題、SNSに関する問題等、生活に直結するデジタル関連の活発な議論と提言が行われています。



カウンタードローン実証試験の視察

福島ロボットテストフィールドにて行われた「カウンタードローン実証試験」を視察致しました。

不審ドローン対策のための「ドローンハンターシステム(DHS)」の製品説明を受け、その抑止モード実証試験、電波干渉試験を見学しました。

さらに、「ドローン安全推進協議会」の川口禎光事務局長による「ドローンの危機管理」についての講演を聞きました。

ドローン産業の普及に伴って、安全な運用と万一の場合の被害者保護等を徹底すべきですが、喫緊の課題は違法運行のドローンをしっかりと取り締まるための法整備であると考えます。



視察

100年の安心に、こたえる
KIRII

株式会社 桐井製作所 〒100-0011 東京都千代田区西幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー 18F
TEL: (03)3539-6000 (代) FAX: (03)3539-6660 <https://www.kirii.co.jp/>



米国シェアNo.1
シーリーベッド

(株)スリープセレクトは、日本国内において米国シェアNo.1マットレスブランドSealy(シーリー)を製造から販売まで一貫して行っております。

SLEEP SELECT
(株)スリープセレクト

東京都港区北青山2丁目13番5号 青山サンクレストビル 2F
TEL:03-5413-6600(大代表) www.sleepselect.co.jp
代表取締役社長 西村 秀之
製造工場: 〒441-0105 愛知県豊川市伊奈町佐臨原415

災害現場視察

台風2号の影響による6月2日から3日にかけての大雨で亀の川が氾濫し、被害にあった和歌山市内の現地を、尾花正啓和歌山市長とともに視察して参りました。

被災に遭われた皆さまに心よりお見舞申し上げます。
復旧・復興につきましては、被災された方々がより早く立ち直れるよう行政と協議し、国に対して必要施策を強く要望するなど、対応を急ぎます。
大きな被害を受けた海南市には、災害救助法が適用されました。



日韓・韓日協力委員会

新型コロナの影響で中断し、3年ぶりにソウルで1月17日に開催された日韓・韓日協力委員会合同総会に出席してまいりました。

政治・経済・文化の全ての分野で両国の未来のために真摯に議論し、今後の相互協力を更に強化することが共同声明として採択されました。



大阪・関西万博起工式

大阪・関西万博の開幕まで2年となる4月13日、会場の人工島「夢洲」で起工式が開催され、出席してまいりました。岸田総理らの鍬入れにより工事の無事と万博の成功を祈願しました。

万博は「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに2025年4月13日から10月13日まで開催されます。

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)起工式



串本町議会の皆様と懇談

2月17日、串本町の田嶋町長と町議会議員の皆様17名が参議院会館鶴保事務所にお見えになりました。

日本初の民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」からのスペースワン打ち上げ、トルコ大規模地震に対する義援金など、串本町ならではのお話を伺った有意義な時間でした。



大阪パーティー

参議院地方創生及びデジタル社会の形成等に関する特別委員長 鶴保庸介君と明日の日本を語る会



1月20日大阪のスイスホテル南海にて鶴保庸介と明日の日本を考える会パーティーを開催していただきました。

大勢の支援者の皆様、先輩の方々と同僚にご参集いただき、国政と地元和歌山に対する私の決意を述べさせていただきました。



KONOIKE 2030 VISION

技術で、人が、高みを目指す

先端テクノロジーを使いこなす次世代のKONOIKEスピリットで、お客さまと社会の課題解決を図る「現場のあり方」を進化させていきます。



KONOIKE GROUP

鴻池運輸株式会社

Konoeke Transport Co., Ltd.

大阪本社 ☎ 541-0044 大阪府中央区伏見町4-3-9 TEL 06-6227-4600(代) 和歌山支店 和歌山県和歌山市日野町 鴻池 忠彦
東京本社 ☎ 100-0061 東京都中央区豊洲6-10-1 TEL 03-3675-5751(代) グループ内宛メール: 169 / 海外宛メール: 133



農林水産省訪問

捕鯨問題に取り組む一環として、1月31日に農林水産省を訪問し、捕鯨業や鯨資源の持続的事業を目指す調査、また食材としての鯨に関する展示を見学しました。

その後、省内の食堂で鯨ステーキと亀田揚げを美味しくいただきました。



訪問

道の駅 川場田園プラザ

道の駅議連の一員として2月8日、じゃらん道の駅グランプリ2022で1位になった群馬県利根郡川場村の道の駅「川場田園プラザ」を視察しました。

自然豊かな広大な敷地に豊富な特産品販売所と様々なグルメや体験スポットがある1日遊べる充実度の高い道の駅です。

社長にご案内いただき、事業モデルの説明と成功の秘訣を伺ってまいりました。



梅議連

梅振興議員連盟総会が6月14日におこなわれました。

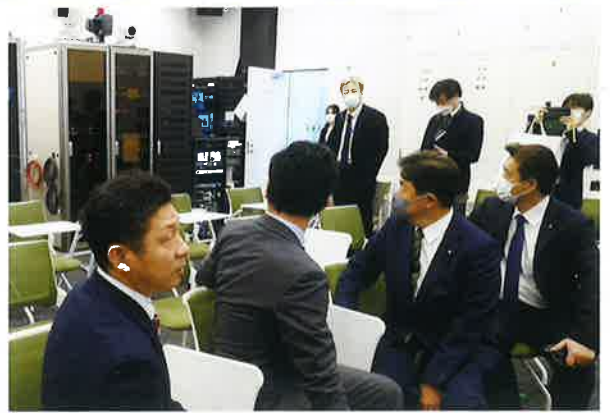
和歌山をはじめ群馬、埼玉、東京、神奈川、福井の梅産地の代表者が集い、各産地の梅関連の名産品が展示されたほか、梅の消費拡大に向けた取り組みの発表などがおこなわれました。



気象庁視察

2020年に大手町から虎の門に移転した気象庁を3月14日視察してまいりました。

気象防災オペレーションルーム、地震火山オペレーションルームで取り扱う情報と運用体制の説明を、記者会見室で各メディアによる情報発信体制についての説明を受けました。



FOODEX JAPAN 2023

3月7日～10日東京ビッグサイトで開催されたアジア最大級の国際食品・飲料展「FOODEX JAPAN 2023」を視察しました。4年ぶりの開催で、世界60カ国・地域からの出展者と、74,000名の来場者があり、積極的な商談が行われていました。

もちろん、活気に溢れた和歌山ブースも表敬訪問してまいりました。



大日本猟友会総会

6月14日、大日本猟友会の令和5年度定時総会懇親会にお招きいただきました。

今後とも安心農業を実現するため鳥獣害対策の充実強化に取り組みます。



参議院議員
鶴保庸介
公式ブログ



Instagram
はじめました!

● 写真による活動報告も行っています

ホームページもぜひご覧ください。

<http://www.tsuruho.com/>



● 鶴翔ニュース登録はこちら

メール本文にお名前とお住まいの市町村をご記入ください。

wakayama@tsuruho.com



つるほようすけ
鶴保庸介事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館313号
TEL.03 (6550) 0313 FAX.03 (6551) 0313
E-mail : info@tsuruho.com

《鶴保庸介和歌山事務所》

〒640-8341 和歌山県和歌山市黒田107-1-503 TEL.073-472-3311/FAX.073-472-3334 E-mail : info@tsuruho.com